

新年御挨拶

優良産業廃棄物の処理業者を育成 行政と一層の連携はかる

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素から皆様方には、協会の事業運営に対しまして格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、第12回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」を三重県志摩市で開催し、全国各地から600人を超える参加者があり、盛大に執り行われました。会員の皆様には何かとお忙しいところ多数参加頂き、ありがとうございました。



一般社団法人
三重県産業廃棄物協会
会長 木村 亮一

また、昨年は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律やその他の法律の違反により産業廃棄物処理業者の行政処分が数件発生したことから今後は、企業倫理・法令順守に一層取組みたいと考えております。

本年も協会といたしましては、県行政と一層の連携を図り、優良産業廃棄物処理業者を育成し、新たな事業化情報を提供し、会員の皆様と共に研修事業などを通して産業廃棄物の適正な処理に向けた取組みを進めてまいりますので、今後とも皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。

循環型社会の構築に向けての取組み 廃棄物の3Rや適正処理対策促進

新年、明けましておめでとうございます。皆様健やかに新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。三重県産業廃棄物協会の皆様には、平素から本県の廃棄物行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本県では、かねてより循環型社会の構築に向けて廃棄物の3Rや適正処理対策の促進に取り組んでいます。とりわけ未利用資源となっている廃棄物系バイオマスの循環利用については、現在、地域研究会を立ち上げ、資源化ビジネスを念頭においた事業化検討を行っております。

また、産業廃棄物の適正処理を着実に行うためには体制整備が必要であることから、処理責任を有する排出事業者に対し電子マニフェストや優良産廃処理認定業者の利活用を進めているところであります。昨年11月に



三重県環境生活部
廃棄物対策局
局長 渡辺 将隆

本県で開催された全国大会の成果を踏まえ、今後とも貴協会と連携し取り組んでまいりたいと考えております。

さらに、産業廃棄物の4つの不適正処理事案に対して、国の支援を得て着実に環境修復工事を進めていくとともに、不適正処理の未然防止や早期発見を行うため厳正な監視指導を実施するほか、事業者や自主活動団体等の様々な主体と連携を強め、不法投棄を許さない社会づくりを進めていくこととしています。

貴協会の皆様におかれましては、引き続き、本県の廃棄物に関する取組についてのご理解とご協力をお願い申し上げます。最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご多幸を祈念して、年頭の挨拶といたします。

産業廃棄物処理実務者研修会を開催

平成25年10月10日（木）三重県労働者福祉会館で、排出事業者及び処理業者を対象に、産業廃棄物を処理する上で重要な、委託契約、マニフェスト（産業廃棄物管理票）帳簿等の実務に係る知識習得を目的とした産業廃棄物処理実務者研修会を開催しました。

研修会には60名が出席し、公益社団法人全国産業廃棄物連合会講師の岩田隆氏、田尾利光氏の2名に産業廃棄物処理の実務に必要な内容を解りやすく話してくださいました。研修会終了後は、受講者へ修了証を交付しました。



研修風景

産業廃棄物処理初任者研修会を開催

廃棄物処理法を理解し、産業廃棄物処理の基礎的な知識を身につけ、適正に業務を進めるため、今年度も入社後1~5年程度の初任者を対象とした産業廃棄物処理初任者研修会を平成25年9月27日（金）四日市商工会議所で開催しました。

研修会には71名が出席し、当協会の筒井専務理事から産業廃棄物処理の基礎知識について解りやすく説明していただき、参加の方は熱心に講義に取り組んでいました。



研修風景

産業廃棄物処理優良企業視察研修会



プラント前にて集合写真

排出事業者部会事業の「産業廃棄物処理優良企業視察研修会」として、平成25年11月12日（火）に伊賀市の三重中央開発㈱を視察しました。

例年は排出事業者、賛助会員の方々のみの参加でしたが、視察先のご好意で今年度は処理業者の方々にも参加いただき、30名が参加しました。

三重中央開発㈱は、当協会会員で、収集運搬・中間・最終処分と一貫した処理業の許可を取得しております。今回は、新たに建設したエネルギー・プラザ等、国内屈指の処分場を見学しました。

不法処理防止合同パトロール

不法処理防止合同パトロールが平成25年9月18日（木）に三重県環境生活部廃棄物監視・指導課職員と当協会役員、適正処理委員会委員の20名が廃棄物処理の現場の状況確認を行いました。当日は多気町地内で㈱ミヤテック及び久居地内の㈲三功の処分工場をパトロールしました。

パトロールの結果は「特に問題もなく適正に処分されていた」ことが確認されました。その後、三重県合同ビルで意見交換会を行い、木村会長から「工業専用地域では早期に許可が出来るよう希望します」との発言や井上副会長から「指導件数が増えているが対応が変わったのか」との質問があり、県から「指導件数が増えたのは監視員の増員で細部に亘って文書で指導していることと、許可後の変更手続きが行われていない事案が多い」と発言がありました。今後は、県廃棄物監視・指導課から講師を招いて研修会を開催予定しています。